

高精度予測情報の創出等により、 国、地方自治体、企業等の気候変動対策へ貢献する

【対策】114 高精度予測情報等を通じた気候変動対策

対策概要：全ての気候変動対策の基盤となる気候モデルの開発等を通じ、気候変動メカニズムの解明や、防災対策等の気候変動適応に必要な気候予測データの創出を実施する。また、地球環境ビッグデータを蓄積・統合解析するDIAS(データ統合・解析システム)を利活用し、浸水・洪水予測等の気候変動、防災等の地球規模課題の解決に貢献する研究開発を推進する。

府省庁名：文部科学省

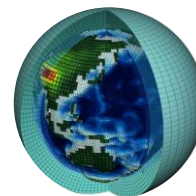
【事例】気候変動適応戦略イニシアチブ

- 実施主体：JAMSTEC(DIAS)、東京大学ほか4機関(気候変動予測先端研究プログラム)
- 実施場所：—
- 事業概要：気候予測データの創出、地球環境ビッグデータの蓄積・提供、防災等の地球規模課題の解決に貢献する研究開発等を実施。
- 事業費：約29億円
- 効果：高精度な気候変動予測データの創出や地球環境ビッグデータを利活用した研究開発を推進することにより、国、地方自治体、企業等における気候変動対策に関する意思決定に貢献することが期待される。国土交通省の「気候変動を踏まえた治水計画のあり方提言」の改訂において、異常気象の将来変化の評価が可能な気候変動予測データが活用された。

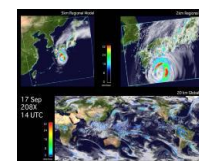
気候変動対策

気候変動予測先端研究プログラム

- ・ 気候システムの基礎的理解促進
- ・ 高精度な気候予測
- ・ ハザードの予測



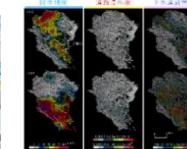
独自の全球気候モデル



温暖化した世界及び日本周辺の予測

地球環境データ統合・解析プラットフォーム事業 (DIAS)

- ・ 地球環境ビッグデータの蓄積・提供
- ・ 地球環境ビッグデータの解析環境
- ・ 気候変動対策・防災対策の研究開発



東京23区リアルタイム浸水予測システムの開発